

令和5年度ASMSA派遣事業 参加者名簿

学年	氏名	ホストチューデント
1	後藤 成瀬	Lily Blalock
1	高橋 杏奈	Maddox Porter
2	小野 ゆすら	Helen Van Wagner
引率	早川 真	

ASMSA (Arkansas School for Mathematics, Science and the Arts) について

1. 特色

数学、科学、芸術分野に興味や適性を持っている才能ある学生の教育に特化した、全米に 17 ある全寮制の高校のうちの一つ。理数分野（数学、生物、物理、コンピュータサイエンス）のコースの充実に加え、芸術分野や人間学においても多彩なコースを展開している（例：アメリカ民族音楽、人権学、絵画、グラフィックデザイン、ドキュメンタリー映画作成等）。また、複数の外国語の授業（日本語、スペイン語、フランス語）も開講されており、理数分野にとどまらない幅広い教育を実現している。さらに、在学中に 30~50 時間の大学単位を取得することも大きな特色の一つとしている。全寮制で最低 2 年間の寮生活となり、その 1 年間の寮費は食費込みで僅か \$800 である。

2. 在籍生徒

約 250 名。約半数の生徒が平均～低所得者層の家庭。

3. 設立

設立 :1991 年。設立者ビル・クリントン（第 42 代大統領、元アーカンソー州知事）。

4. 進学

これまでに当校の卒業生が受けた奨学金の総額は 330 億円以上にのぼる。卒業生の多くは、アーカンソー州内の大学に進学するが、ハーバード大学やスタンフォード大学への進学実績も有している。

5. 所在地

200 Whittington Avenue Hot Springs, AR 71901, U.S.A.

ホットスプリングス市について

ホットスプリングス市は、アーカンソー州の中西部に位置し、日本の成田空港からテキサス州ダラス国際空港まで約 12 時間、ダラスからアーカンソー州都リトルロックまで飛行機で約 90 分、そしてリトルロックから車で約 1 時間。日本との時差は、15 時間（夏時間では 14 時間）日本のほうが早く、シカゴやヒューストンと同じアメリカ中西部標準時に属し、人口は約 38000 人。気候は、一年を通じて、降水量が多く比較的温暖。夏は蒸し暑く、日中の気温が 35 度以上になることもある。冬は夜に氷点下まで下がることもあり、わずかながら積雪も見られる。ホットスプリングス市は、文字通り温泉地として有名で、観光と保養の街として人気がある。

行程

令和6年3月6日(水)~15日(金)

3月6日(水):1日目

時間	場所	内容
10:00	新花巻駅集合	出発あいさつ
11:20	新花巻駅発	JRやまびこ58号
14:24	東京駅発	成田エクスプレスで成田空港へ
15:53	成田空港着	搭乗手続き・換金等
18:25	成田空港発	アメリカン航空60便
日付変更線通過		
14:50	ダラス空港着	
18:30	ダラス空港発	AA航空3475便
19:46	リトルロック空港着	手荷物ピックアップ
20:30	リトルロック空港発	専用車でホテルへ
20:50	ホテル着	Hampton Inn



3月7日(木):2日目

8:30	ホテル発	朝食・チェックアウト ASMSA専用車で移動
10:00	ホットスプリング市着	ASMSA到着
午前	ASMSA	校舎見学
12:00	ASMSA	ウェルカムパーティ
午後	ASMSA	授業参加
17:30	Cracker Barrel	ディナー
20:00		ASMSAドミトリー宿泊



3月8日(金):3日目

終日	ASMSA	授業参加
16:00	校内でホストファミリー合流	ホストファミリー宅宿泊



3月9日(土):4日目

終日	ホストファミリーデー	ホストファミリーと過ごす ホストファミリー宅宿泊
----	------------	-----------------------------



3月10日(日):5日目

終日	ホストファミリーデー	ホストファミリーと過ごす
17:00	ASMSA帰校	
17:00	ASMSA	World Cultural Fair
19:00	ASMSA	ASMSAドミトリー宿泊



3月11日(月):6日目

午前	ASMSA	授業参加
午後	ASMSA	日本文化紹介
17:00	ASMSA	Grateful Head Pizza
20:00	ASMSA	ASMSAドミトリー宿泊



3月12日(火):7日目

午前	Lakeside Elementary/ Primary school	日本文化紹介
12:00	Don Juan's	昼食
午後	Lakeside Junior High/ High School	日本文化紹介
17:30	David's Burger	夕食
19:00	ASMSA	Fashion Show
20:00	ASMSA	ASMSAドミトリー宿泊



3月13日(水):8日目

午前	ASMSA	授業参加
12:00	ASMSA	フェアウェルパーティー
13:00	ASMSA発	ASMSA専用車でリトルロック 空港へ
14:30	国会議事堂	リトルロック観光
17:00	Flying Fish	夕食
18:00	ホテル着	Hampton Hotel



3月14日(木):9日目

5:30	ホテル発	専用車でリトルロック空港へ
7:45	リトルロック空港発	AA3589便
9:17	ダラス空港着	
12:10	ダラス空港発	AA61便



3月15日(金):10日目

15:30	成田空港着	入国手続き
16:20	成田空港発	成田エクスプレス36号
17:22	東京駅着	
17:56	東京駅発	JRはやぶさ107号
20:32	新花巻駅着	到着あいさつ



< 訪問に際して >

3月6日から15日まで、アメリカ・アーカンソー州・ホットスプリングス市を訪問してきた。花巻北高校が2016年に姉妹校提携を行って以来、4回目の訪問となる。前回は6名の派遣だったが、世界的物価高、記録的円安のため航空券が高騰し参加生徒は3名のみとなった。それでも、生徒たちの留学熱は熱く、選考では1・2年生合わせ12名の応募に対し、厳しい選考を経て選出された3名が参加となった。涙を呑んだ生徒の分も頑張るといふ生徒たちは、経験を重ね日に日に逞しくなっていた。

私自身は、若い頃バックパッカーに挑戦し英語圏以外の国も数多く旅した経験がある。米国も、最初の海外旅行であるオレゴン州を皮切りに拳式はラスベガスで、新婚旅行はN.Y。仕事でも日本語教師としてカンザス州に2年間滞在歴がある。今回の生徒引率も単なるビジネス旅行と思っていたら、予想をはるかに超える良いものとなった。

旅行には、トラブルがつきものだと良く言われる。

初日から雪の影響で東北新幹線が全面ストップし、今回もまさにその流れだったが、そのような問題に生徒たちもしっかりと向き合った旅行となった。

ホットスプリングス市では、日本人に会うことはなかったが、現地では日本に行ったことがある人に多く出会った。花巻市とホットスプリングス市の姉妹都市交流は、昨年30周年を迎え、多くの人がこのプログラムに関わっている。相手側のAlderdice Corey ASMSA 校長は9回も来日していて、花巻の名所や日本の食べ物にとても詳しく、私よりも花巻に詳しいのではないかと思ったほどだ。

ホットスプリングス市とASMSAを挙げての対応に、毎日が感謝、感動で、最後は涙の別れとなった。多感な年頃の生徒たちにとっては、この経験がひと皮むけるどころか人生を変えるようなものだったと思う。

それほどインパクトのあった彼女たち3名の旅行の詳細を述べていきたい。

<ASMSA>

●第二外国語の授業として日本語、スペイン語、フランス語が開講されている。日本語の授業を担当するのは、北海道留学経験があるベティ先生。壁一面には、日本語教材が張り巡らされている。親日の雰囲気にはっこり。英語を第二言語として学ぶ我々と同じように、ASMSAの生徒が第二言語を学ぶ授業に参加できたことは、教員としても有意義であった。



●花巻北高校との姉妹校提携に関するものが展示されているスペースを発見。この関係が永遠に続きますように。ほかに、大阪にある高校との姉妹校関係が提携されている。日本だけではなく、スペインなどへ生徒を派遣するプログラムを有していることから、国際教育も活発に行われている。



●事前に何度もリハーサルを重ねた3人による日本文化紹介プレゼンテーション。アメリカ人生徒にとっては、午後の任意の参加ではあったが、日本語クラス以外の生徒も多数参加してくれた。会場の雰囲気を感じ、始まりから盛り上げるために急ぎょラジオ体操。みんな恥ずかしがることなく、日本人生徒を真似て大きな動きでやってくれた。多いに盛り上がり、その後の「だるまさんが転んだ」でも、「転ぶ」の過去形をしっかりと導入してやるとこれも大成功。アメリカの生徒はチャペルを大きく使い、一生懸命走って楽しんでくれた。忍者、兜作り、高校生の1日、ソロバン、浴衣、箸競争、漢字クイズ、祭り等、2時間をあつという間にノンストップで終えた。ASMSAの生徒の好奇心の旺盛さに助けられ、日本人生徒の周到に準備してきた成果が挙げられた。



●全寮制のASMSAの生徒は、自校のカフェテリアで3食を食べる。朝からアイスとジュースが食べ飲み放題。



●夜のファッションショーは、生徒たちがスーツ等のフォーマルな装いでキャットウォークするというもの。19時からの開催ではあったが、会場は満員になるほどの盛況だった。良いところは、シャイな生徒も頑張って演技し、それを見ている生徒がしっかり盛り上げたこと。このような行事を通して生徒達の自尊心が高まるのだろうと感じた。



〈Lakeside 小学校/中学校/高校〉

●今年度初めて入れた ASMSA 以外の学校訪問 & 日本語文化紹介。小学校低学年の元気な声とキラキラした瞳に私たちは完全に KO (ノックアウト) された。



〈ホットスプリングス市内〉

●週末に、コーリー校長先生の案内で地元の日本酒蔵 Origami の工場見学をする機会があった。二戸の南部美人で2年間の修行を積んだ副社長のベンさんが丁寧にそして分かりやすくお酒の造り方を説明してくれた。特に印象に残っているのは、美味しいお酒を作るには、良い水と米が必須だということ。こ

こホットスプリング市は温泉が豊富に湧き出る地下水があり、またアーカンソー州は全米で米の生産高がトップを誇り日本酒用の山田錦が生産されているとのことだった。以前、寿司が大ブームになったように、将来は日本から遠く離れたホットスプリング市で作られた酒がアメリカ中で大人気となる日がやってくるのかもしれない。



●ホットスプリングスというだけあり、温泉に関わりのある街。花巻とは異なり、街の中心地に温泉が湧き出ている。いくつかある温泉施設のうち、現在入浴できる施設は一つのみ。体の汚れを落とすというよりも、日本の温泉でいう湯治の感覚に似た、治療や療養のために運営されていた。今回は、入浴しなかったが、次回の訪問では試してみたい。



●街の中心地では、現地住民や観光客が湧き出た温水を汲みにきている。中には軽トラックで乗り付け、かなりの量を持ち帰る人も見かけた。温泉でもあるが、飲み水にも最適。ミネラルウォーターの産地にもなっている。伝説のギャング、アル・カポネもここで美味しい水を飲みながら静養したそうだ。



<その他>

●すべての空の移動は、アメリカン航空。乗り継ぎのダラス国際空港は、アメリカン航空の本拠地でもあり、世界最大級のハブ空港として4つの滑走路があり、空港内にはSky linkと呼ばれるモノレールが通っていてスケールの大きさを感じる。全員、無事に出入国審査を通過できたが、荷物の置忘れやレストランでの支払いミス等の思い出ができた。



●食事。値段は予想通り高い。下は朝食のステーキ、目玉焼きセット。(飲み物とセットで20ドル、約3000円) フライドポテトがあるのはいかにもアメリカ南部らしい。



姉妹校訪問の思い出



学校の前でホスト生徒のみんなと



日本文化プレゼンテーション。
法被が大人気。



中学校訪問の昼食時



ファッションショー。同じ高校生とは



地元の David バーガー店で



ハンバーガーが大きくて美味しい

